

市政活動報告

良友会会報 あすなろ

発行者 良友会 発行責任者 井手口良一 事務局・大分市六坊北町 4485-5 電話番号 097-545-3458 FAX 番号 097-545-3477

ご挨拶

春の統一地方選挙に向けて

年末のあわただしい総選挙が終わりました。今度の選挙を通して、皆さんは何をご覧になりましたか。香港の民主化運動を支えている若者たちから、日本の若者たちへ「自由な選挙、自由な投票権があることがどれだけ幸福なことか」というメッセージが届きました。それでも結局、日本の若者たちはそのメッセージに何も答えることはありませんでした。今、若者たちが政治に背中を向けるということは、自分たちの未来を否定し拒否することに等しいはず。わたしたち大人は、これからわたしたちが大切育ててきたはずの子どもらや孫たちに、何を教え、何を残していけばいいのか、もう一度考えなくてはなりません。

春には統一地方選挙がやってきます。大分も3月には県知事選、県議選があり、4月には大分市長選が告示されます。これからますます、国による中央集権、上意下達型政治が強められていくでしょう。「地方分権」という言葉すら、最近の中央省庁の幹部の言葉から消えています。

知事はまるで戦前の官選知事のように、中央省庁の出身者の天下り先の定席になってしまいました。県知事はさらに市長の椅子すら、霞が関時代の部下に与えようとしています。そんな傲慢な自分勝手でも、それでもいいかどうかを決めるのは、大分の選挙民であり、市民です。わたしはこれから単に市政レベルの政策を語るだけでなく、県レベル、国レベルの施策についても語り、積極的に提案していくつもりです。

高齢者福祉で言われている「地域包括ケア」、子育て支援で言われている「保育制度改革」、若者の就労促進の弊害となる「派遣労働者法改正」、働く両親を子どもから家庭から奪う制度である「就労時間制限緩和策」などなど、わたしたちの暮らしに直接大きな影響を与えかねない事態が、目の前に迫ってきています。

どうか、今年も大分市のため、ふるさとのまちづくりのため、わたくしの活動をご支援、ご鞭撻ください。よろしく願いいたします。 井手口良一



12月5日(金)午後3時から質問に立ちました。

視点・論点・問題点

質問-1. 新たな昇任試験制度の導入について

- ①課長級に昇任試験制度導入の効果についてどのように評価しているか？
- ②新たにグループリーダー(係長)職にも、昇任試験制度を導入してはどうか？

総務部長答弁

課長級への昇任試験制度は平成16年から導入し、毎年100名程度の職員が受験している。より一層、意欲と能力がある、精神的にも強い優秀な人材の登用につながっている。女性職員や若手職員が積極的に受験することで、管理職登用や市の政策・方針決定の場への参画が進み、組織の活性化が図られていると考えている。

グループリーダー昇任試験制度の導入については、多くの都市が導入している実態もあり、グループリーダーの重要性を勘案する中で、本市として具体的にどのような手法が最も適しているかを調査研究していきたい。

井手口の視点

特に女性職員の管理職は制度の導入によって確実に増えています。女子職員の意欲の高揚に大きく貢献してきたと、わたしも高く評価するところです。既に係長級に昇任試験を導入している都市では、管理職の平均年齢が低くなるという効果が顕著に現われています。今後とも引き続いて、グループリーダー職への昇任試験の導入を働き掛けていきます。

質問—2. 大分市事務事業外部評価委員会のあり方

①評価対象事務事業選定のための基準、今回の対象事業選定までの経緯は？

企画部長答弁

全ての事務事業を対象とし、担当部局の一次評価によって、部局自ら対象事業の抽出を行う。それに基づいて企画部内の内部検討チームで抽出し、市長を統括者とする総合経営会議を経て選定する。

今年度は部局が自ら抽出した「消防車両購入事業・はしご車の配置見直し」と内部検討チームで抽出した5事業の、計6事業を選定した。

②外部評価委員長が評価対象事務事業にそぐわないと感想を述べた。企画部長の受け止め方は？

企画部長答弁

当日の議事の進行方法や説明が不十分であったため、議論が深まらず、そのような印象を持たれたことは残念と思っている。

今後は評価対象事業の選定については、多角的で有意義な意見を頂けるよう、十分な検討のもとに抽出・選定作業を行う必要があると考えている。

井手口の視点

もともとこの事務事業外部評価委員会の設置を働きかけたわたしとしては、評価委員会のあり方について、形骸化していないかどうかを常に監視してきました。

事務事業の外部評価は貴重な税金をはじめとする財源の効率的な運用を図るため、事業の費用対効果、事業の必要性、行政のやるべき事業かどうかなどを、外部の識者・専門家に評価してもらう制度です。「消防はしご車」の配置のような、行政にとっての至上命題、政策の根本にかかわる事業は、評価の対象になじみません。

また、区画整理事業事務所の機構改革のような、

市に全ての判断権が委ねられていない事業を、外部評価委員会にかけて「廃止相当」などという結論が出たらどうするつもりだったのでしょうか。事務所を機構改革で編成替えするというのなら、それを終えた後で、その機構改革を評価してもらうべきだったのです。

外部評価委員会が行政から完全に独立した判断をすることを保障するために、これからも監視を怠りません。

質問—3. 大分市が指定する指定管理者の評価について

①指定管理者に第三者評価制度を導入すべきでは？

企画部長答弁

公の施設としての管理水準のより一層の維持向上につながるものとして、当該制度を導入すべき施設などを検討していきたい。

②指定管理者選定委員会の選定結果の評価を、選定委員さんたち自身にってもらう制度を導入すべきでは？

企画部長答弁

指定管理者予定者を選定した委員会自らが、指定管理者の業務追行状況をフォローアップすることは、選定の妥当性を検証することで、選定の視点や以降の選定時に於いても大いに参考になるものと考ええる。今後、当該委員会のあり方について検討していきたい。

井手口の視点

指定管理者制度は行政改革の一環として、有効な考え方です。しかし、だからといって市民サービスを犠牲にすることや、指定管理者が下請け業者を泣かせることは許されません。また、市民の貴重な財産である施設の寿命を縮めるような、管理をされても困ります。特に県外業者を指定管理者に選定する場合、わたしは厳しい目を注いで監視しています。横浜市などで執っている、指定管理者第三者評価制度のような監視体制を、早期に確立するよう、これからは働きかけていきます。

選定委員会の権限を強くすることも、その監視体制の具体的な方法の一つとして提案したものです。

質問４．公共施設マネジメントの基本的な考え方について

①大分市公共施設白書が公表された。今後の公共施設マネジメントのタイムスケジュールは？

財務部長答弁

「大分市公共施設白書」を作成した後、直ちにマネジメント計画の策定に入る予定でしたが、総務省が建物類だけでなく、インフラ資産も含んだ全ての公共施設を対象とする、総合管理計画を策定するよう要請があったため、「大分市公共施設等総合管理計画」の策定に着手した。本計画は2か年で策定することとし、今年度末までに基本方針、来年度は施設ごとの維持管理、整備に関する分野別方針を策定する予定としている。

井手口の視点

公務員はとかく、与えられた仕事をこなすだけで満足してしまいます。これまで大分市公共施設白書を公表することを要求してきましたが、白書を作成することだけが目的ではありません。

これからの人口減少時代に、一挙に更新期を迎える公共施設です。保守点検を徹底して、少しでも寿命を延ばしながら、何を残し、何を統合し、何をあきらめるのかを市民とともに決めていかななくてはならない、その考える材料として白書が必要なのです。

今回公表した白書には道路などのインフラ部分はまだ含まれていません。白書をより完璧なものにしていくことと共に、公共施設マネジメントを推進するためのチェックに目を光らせていきます。

②廃止する施設の除却の際に国が認めている除却債についての基本的な考え方は？

財務部長答弁

除却債は赤字地方債の性格を有するものと認識していることから、現時点では、その発行は考えていない。

井手口の視点

これまでの地方債には、将来的に行政財産の恩恵に浴することになる、将来世代にも負担を分担してもらうという考え方がありました。それはそれで行政上の理論構成に適っていると言えますのですが、除却債の場合、これまで恩恵に浴してきた過去、および現在の市民のツケを、将来のその時点では恩恵に浴する事の出来ない市民に、その時点では存在しな

い行政財産の負担させることとなります。税の負担の公平性という観点からも、とても除却債の起債を認められません。

もう一点は、どんな場合でも借金はしないに越したことはないという事です。既に国の交付税特会が破たんするという、苦い経験を目の当たりにして、大分市の財政当局は交付税頼りの予算編成の危うさを十分に認識しています。「後から手当てしてやるから、当座は借金しておけ」という国の甘言を鵜呑みにすることはできません。例え国が約束を違えることなく、後年度、全てが交付税によって補填されるかも知れないとしても、借金は借金なのです。

③教育財産に対する基本的な考え方は？

財務部長答弁

これまで教育財産の管理は、法に基づき教育委員会が管理することとされてきた。しかし、近年では国の法の運用が見直されている。今後は教育財産を含む公有財産全体を対象として、公共施設マネジメントを推進することによって、有効活用ができるよう取り組みを進めて行きたい。

井手口の視点

大分市の公有財産は行政財産、教育財産、一般財産に区分されています。しかしながら今日、特に学校施設などの公有財産を教育財産に特化して、自らその使用区分を限定してしまうことは許されない時代が到来しています。

拡充・拡大の時代は終わりました。だからといって、提供すべき行政サービスは減るところか、ますます多様化し、増加する傾向にあります。市民の行政サービスに対する期待度も、高齢化社会の到来を考えると、増えこそすれ減ることはないでしょう。

そこでわたしは大分市が「拡大して充実させる拡充」から「縮小しつつ充実する縮充」へと、パラダイムシフトすることを提唱しています。公共施設空間の総量は統廃合などで縮小させる代わりに、その機能を徹底的に充実、多機能化させることで市民ニーズに応え、市民サービスを低下させないようにするという事です。

例えば小中学校の余裕教室や施設を、児童福祉の事業である児童育成クラブ室に提供したり、指定避難所のQOLを上げるために、学校を整備したりすることに活用するためにも、教育財産を全ての世代

の市民のための共有財産として考えるべきでしょう。

質問— 5. 大分市の財政収支の中期見通しについて

①財務部としての自己採点は？

財務部長答弁

今後の本市の財政状況の大きな視点からの状況把握に於いて、本市が漫然と何もせずにいる場合、将来経験することになるであろう状況を、的確に示してきたと考えている。

②行革改善目標額を中期見通しに算入してはどうか？

財務部長答弁

行革の改善目標値は、5年単位で固定し、平成30年以降の目標額を設定していないが、財政周囲の中期見通しは、毎年推計年度を更新している。行革プランと中期見通しの設定年度に連れがあることから、算入することは困難である。

井手口の視点

この財政収支の中期見通しを毎年発表するという財政当局の姿勢をわたしは高く評価しています。ただ、残念なことに基礎自治体が5年先の財政収支を予測することが、如何に至難の業であるかを物語っており、一昔前の天気予報よりも的中率が低く「当たるも八卦、当たらずも八卦」のような結果になっています。それでもわたしは、中期見通しを出す意義を、市を取り巻く財政収支環境の中期の、トレンドを知ることが出来るということに見出しています。

ただ、不満はこの収支見通しに行財政改革の目標値が算入されていないことです。収支見通しに行財政改革の達成目標が算入されていなかったのは、行財政改革の担当部署が財務部とは別の企画部にあるためだと、わたしは考えています。折角の財政指標です。全庁が挙げてその数字を共有するためにも、今後は資料に中期見通しへの行財政目標額を算入して「何も努力をしなかったらこうなるが、行財政改革目標を達成すればこうなる」と言うような資料にすることを、要求し続けたいと思います。

質問— 6. 大分市の公会計制度改革について

①財務諸表の整備に向けた進捗状況は？

財務部長

国から示される基準などに従い、平成28年度決算

から、公会計整備ができるよう準備を着実に進めて行きたいと考えている。

②固定資産台帳の一元化についての基本的な考え方は？

財務部長答弁

これまで公有財産台帳や個別法に基づく道路台帳など、個別に管理されていた財産を、教育財産なども含め一元的に管理することとしている。これにより、全庁的な観点から施設ごとの維持管理経費や老朽化の度合いなど、資産状況の把握・分析が可能となることから、更新や統廃合などに当たっての説明責任の向上につながるものと考えている。

井手口の視点

国が地方に義務付けようとしている財務諸表の一元化改革は、実質あと1年に迫っています。そこで進捗状況を確認しました。

特にこの際、固定資産台帳の一元化について、教育財産やインフラ施設など、市有の全ての財産の台帳を、固定資産台帳に統合して、全ての市有財産を一元的に管理することを求めました。わたしはそれを公会計改革の一要素である、アカウンタビリティ向上策の一環として考えています。

質問— 7. ふるさと大分市応援寄付金事業について

①本事業の目的と効果について、その整合性をどのように考えているか？

財務部長答弁

この事業は個人が応援したいと思う自治体に寄付することで、都市と地方の税制格差を是正することを目的としている。寄付に対するお礼として記念品を贈呈するようになって、本来の目的に加え、本市の魅力発信と特産品等の販路拡大などの副次的な効果も表れてきている。

②商工農政部として本事業をどのように評価しているか？

商工農政部長答弁

本事業は、本市の特産品の販路拡大、および本市の魅力PRできるという点で評価している。今後とも、財務部と連携を図りながら、商工農政部として寄付者の増加につながるよう、魅力ある記念品の拡充に努め、大分市に行ってみたい、新鮮でおいしい農林水産物を食べてみたいと感じる大分ファンを

増やし、観光振興や地域産業振興につなげていきたい。

井手口の視点

わたしは国がこの制度を導入した意図には、胡散臭いものを感じています。それでも大分市として拡充していくべきと考えています。

ただし、現行の財源確保という視点では、直接市税収入の大幅な増収につながるとは考えていません。むしろ地域産業振興の視点、観光面での知名度アップの効果を大いに期待しているところです。

そのため、いっそのこと所管課を税制課から産業振興課に移管するべきだと考えています。今後とも、より一層、大分市の魅力を情報発信できる事業として、見守り、助言をしていくつもりです。

質問—8. 市立幼稚園の保育料について

本年度募集分の園児の保育料を据え置くべきではないか？

教育部長答弁

幼稚園の保育料については、国の新制度の趣旨を踏まえつつ、負担の公平性や公立と私立のバランスを図る中で、据え置きを検討している他都市の状況をも勘案しながら、総合的に検討し、可能な限り負担増とならないよう努めていきたい。検討の結果についても、なるべく早い時期に市民の皆様にお知らせできるよう努めていく。

井手口の視点

大分市では既に公立幼稚園の来年度入園予定児童の募集が始まっています。にもかかわらず、来年度の公立幼稚園の保育料がいくらになるかがまだ公表されていません。このような事態に陥った責任の所在は、ひとえに国にあることは承知しています。

それでも、どこの世界に価格を設定しないままに販売を開始する業者がいるのかと言わざるを得ません。少なくとも来年度の入園児に関しては、保育料を据え置くべきだと、わたしは考えます。幼児教育現場の事情も、それを運営する基礎自治体の立場も無視する、国の姿勢には憤りを感じますが、保育料が不明のままに入園させるか否かを決めなくてはならない保護者はたまったものではありません。

子育て環境日本一を目指す大分市です。大分市はこれまでも保育料の増額の際には必ず激変緩和策を

施して来ました。他の中核市の中には早々と据え置きを決定したところもあります。一日も早く、保育料を限りなく据え置きに近い形で決定し、公表することを働きかけていきます。

今回は特に、大分市の参謀本部である総務・財務・企画の3部長へ質問をしました。3月に向けても、質問の準備のための調査・研究を開始しています。

議員活動報告

(平成26年10月1日～12月31日)

10月

- 3日(金) 大分市戦没者追悼式
- 4日(土) 金池小学校運動会(来賓出席)
- 9日(木)～10日(金) 福岡市
会派政務調査(セミナー受講)
「指定管理者制度」
- 24日(金) 事務事業外部評価委員会傍聴
上野丘地区3青少協情報交換会
- 25日(土) 弁天水資源再生センター収穫祭
- 27日(月) 議会活性化推進会議
碩田校区お出かけ市長室(来賓出席)
- 31日(金) 上野丘校区お出かけ市長室(来賓出席)

11月

- 1日(土)～2日(日) 横浜市
自治政策セミナー受講
- 9日(日) 金池校区防災訓練(議会防災会議)
- 10日(月) 建設常任委員会
市民意見交換会(西部公民館)
- 11日(火) 市民意見交換会(南大分公民館)
- 12日(水) 市民意見交換会(植田市民センター)
- 13日(木) 市民意見交換会(坂ノ市行政センター)
- 14日(金) 市民意見交換会(コンパルホール)
- 15日(土) 市民意見交換会(のつはる市民センター)



市民意見交換会野津原会場では司会をしました。

- 16日（日） みんなの森づくり植樹祭
- 18日（火） 若年層との意見交換会(大分経理専門学校)



大分経理専門学校の学生さんたちとの意見交換

- 21日（金） 議会運営委員会
- 22日（土） 鉄道残存敷デザイン協議会
- 25日（火）～27日（木）
会派政務調査視察
大阪市：学習塾授業料補助金事業
金沢市：ボランティア大学事業
- 28日（金） 平成26年第4回定例議会開会
- 30日（日） 金池1・2・3丁目町内会防災訓練
ギネスに挑戦「夢錦ヘビ」イベント

12月

- 1日（月） 考案日（議案勉強会）
- 2日（火） 議会運営委員会
一般質問発言通告提出
執行部との質問項目調整



竹町で張り子のヘビをかかえて練り歩きました

- 3日（水） 議会活性化推進会議
- 4日（木） 本会議（一般質問）
- 5日（金） 本会議（一般質問）
- 8日（月） 本会議（一般質問）
地方自治功労賞受賞記念祝賀会

- 9日（火） 建設常任委員会
- 10日（水） 建設常任委員会
インターハイ出場選手激励会
- 11日（木） 建設常任委員会
- 12日（金） 本会議（委員長報告・討論・議決）



委員長報告への反対討論に立ちました。

- 20日（土） 鉄道残存敷デザイン協議会



少しずつ姿を見せ始めた大分駅は、どことなく下のリスボンの鉄道駅と雰囲気似ています。



この会報はワークスペース「樫の木」、小規模作業所「どんぐりの家」の皆さんに、折り加工と封入作業をお願いしています。

あすなる

「あすなる」第57号

発行者 良友会 発行責任者 井手口良一 事務局・大分市六坊北町4485-5

電話番号 097-545-3458
FAX番号 097-545-3477

「年末総選挙を終えて」

井手口良一

総選挙が終わりました。大分一区は吉良州司氏が何とか競り勝ちましたが、全国的には大方の予想通り与党圧勝という結果でした。

終わってしまった選挙に愚痴を言っても始まりません。政党は選挙の終わったその日から次の解散総選挙に向けて、国民と対話しながら政策を練り上げる活動を開始しなくてはなりません。それが「常在戦場」ということでしょう。

わたしは政党に属していません。これまで一度も政党に属したこともありません。立場も一介の市議会議員です。それでもこの国の将来を愁い、子ども達、次の日本を担う世代の未来を危惧する気持ちは、国会議員にも負けたいと思っています。また、海外で培ってきたわたしなりの見識も、それなりに当を得たものと自負しています。

今度の選挙で何がわたしをがっかりさせたか。それは勿論、投票率の低さです。それも、この国の将来の行く先に、自分の人生設計をもっとも左右されるはずの、若い世代の無関心ぶりです。

野田元首相の街頭演説を聞いていたわたしの傍を、「なんかあるん？この人どっかで見たことある」と言いながら、若い女性がいました。ついわたしはその後ろ姿に見とれてしまいました。その女性が美しかったからではありません。その若い女性もやがて伴侶を得て、子宝に恵まれ、この国の未来社会で生きていくのだと、思えば思う程、わたしは茫然と立ち尽くすしかなかったのです。

皆さん、どうか教えてください。どうすれば、この国の次世代を背負う若者たちに、政治が自分たちの生活そのものを決めているということを、教えることができるのでしょうか。そして、投票することがいかに大切かということ。

コラム 「絶滅危惧語辞典」第12回

焚火(落葉焚き)

わたし達が子どもの時代は、12月、木枯らしが吹きはじめ、サザンカの花が満開になる頃になると、街中でも、里山近くの民家でも同じように、あちこちで落葉を焚く光景が見られていたものです。

子ども達にとってそんなささやかなイベントでもうれしいものでした。現代社会では、外で火を焚くことは許されません。まして子ども達が子どもだけで焚火をすることなどとんでもないという時代になりました。

また、少々隣家から離れているような地区でも、焚火をすれば煙の臭いが洗濯物などに染み付くという苦情が、あっという間に消防や市の環境対策課に寄せられます。焚火は季節の移ろいを感じる日本の文化ではなく、単に大気汚染源になってしまったようです。

東京の世田谷に羽根木フリーパークという、子ども達が勝手に焚火のできる公園があるというので、見に行ってきました。本当でした。何とか、焚火という言葉がなくならないうちに、大分でもそんなフリーパークを作りたいと考えています。

ゆかしい(おくゆかしいもほぼ同義語)

床しいや奥床しいは当て字です。本来は「懐しい」や「奥懐しい」と書くのですが、パソコン・ソフトでは床という字しか出てきません。それくらい、既に絶滅しそうな言葉と言えるでしょう。

辞書的には「何となく知りたい」とか「どこか懐かしい」と言った意味になるのですが、人物を指して形容するときは「上品な」という意味が加味されるようです。「どことなく魅力のある」というのが「上品な」に通じるというのは、一昔前までの日本人共通の美意識だったのではないのでしょうか。

高倉健さんがお亡くなりになりました。わたしの青春のシンボルだった彼ですが、「ゆかしさ」という日本人の美意識を体現していた俳優がいなくなると何よりつらいのは、ゆかしさを感じる事がまた一つ減ってしまったことです。

後援会などの活動日誌

(平成26年10月1日～12月31日)

10月

- 4日(土) 一土こん会
- 8日(水) イオン九州労組支部長会議
- 11日(土) ～12日(日)
第7回リレーフォーライフ大分大会
- 13日(月) 九州詩人祭実行委員会
- 17日(金) 26年度狩猟登録
- 18日(土) 九州詩人祭大分大会
U A ゼンセン大分県支部定期大会



定期大会で政治顧問に再任されました。本部からお見えになった逢見会長(前列右)と関之尾新支部長(前列左)

- 19日(日) まちなかうオーク
(南蛮ウオーキングイベント)
- 26日(日) ばん友会ファミリーピクニック



久住パルククラブでのファミリーピクニック

- 30日(木) 旭化成労組女性部昼食会

11月

- 8日(土) 一土こん会
- 10日(月) ジョイフル労組定期大会
- 17日(月) U A ゼンセンシニア友の会
- 18日(火) 連合大分議員懇談会学習会
同 意見交換会
- 21日(金) 22日会
- 23日(日) フジボウ労組定期大会
- 29日(土) 豊墨会十人展(芸館フィナーレイベント)
- 30日(日) 連合大分政治研修会

12月

- 2日(火) 衆議院選挙出陣式



芸館最後の展覧会「豊墨会十人展」で出展者の児玉先生と

- 6日(土) 衆議院選挙出発式応援見送り
- 7日(日) ばん友会緊急世話人集会
- 9日(火) 連合大分衆議院選挙総決起大会
- 10日(水) 22日会
- 13日(日) 連合大分政治研修会
- 16日(火) U A ゼンセン運営評議会
同 意見交換会
- 18日(木) 日本感性教育学会大分県支部例会
- 20日(土) 赤十字ボランティア「一碗茶」クリスマス
チャリティー茶会
- 21日(日) 詩誌心象編集会議

「事務所の日」は毎週月・木曜日です。ただ、議会・委員会や出張などもありますので、ご来駕いただける場合は、事前に電話などで確認の上、おいで下さい。

〒870-0841 大分市六坊北町 4485-5

☎ 097-545-3458

Fax 097-545-3477

会費 一般会員 (年間・1口) 1,000円
賛助会員 (年間・1口) 10,000円

良友会名義の口座番号

大分銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 5036576

豊和銀行 上野支店 「いでぐち良一後援会」良友会 1035694

ゆうちょ銀行 「いでぐち良一後援会」良友会 17290-12491381

良友会の運営は会員の皆様がたからの会費とご寄付によってなされています。いつも皆様の過分のご協力に感謝いたしております。ありがとうございます。

いでぐち良一後援会「良友会」

(現在「南蛮の風紀行」をわたしのブログ

<http://www.bocra21.jp/blog/>に連載中)



編集
後記

日本は今度の選挙で、大きな曲がり角を曲がったような気がします。安倍晋三のいう「この道」は日本にとって「いつか来た道」に他ならないのに「いつか来た道」で塗炭の苦しみを味わうことになるであろう、世代が、現政権のトリックにまんまとひっかかった。彼らがいつ「事態の行方の容易ならざる」ことに気が付いてくれるか。抜き差しならぬことになる前に、気が付いて欲しいものです。()